

# 「池田邸改修プロジェクト」 その1 「舟宿改修計画」

## ふるさと納税※1へのご協力のお願い

NPO 法人勝山町並み委員会※2 理事長 行藤公典

問合せ先：勝山文化往来館ひしお事務局 0867-44-5880

### 1 はじめに

勝山では1996年に上組自主組織※3の有志メンバーで構成されるかつやま町並み保存事業を応援する会※4が発足し、これまで住民主体で様々な活動を行ってまいりましたが、地元住民の高齢化も進み、私達が先人から受け継いだ地域の大切な財産である歴史的な町並みなども今後の存続が危惧されています。

今、我々が一番強く案じているのは、町並み保存地区の中ほどに位置する「池田邸」です。池田邸は、表通りから旭川まで繋がる長細い敷地となっており、表の町家は町並みを構成する上で重要な建物であり、中庭、蔵、奥庭と続く旭川へのアプローチの先に私達が「船宿」と呼んでいる建物があります。船宿は江戸時代に積まれた素晴らしい石組みの上に「舟宿」が長年の風雨に耐えて建っていますが、対岸からの町並みの景観においても重要な役割を担っている町裏景観の中でも最も愛されている場所でもあります。しかし、近年では老朽化が進み、雨漏りによる屋根、白壁の崩落で建物の痛みがひどく早急な修理が必要となっております。この建物が崩れてしまったら現在の基準では

新しく建て直すことは出来ません。何とかこの建物を守りたい、我々が愛するこの町の景観を守りたい、私達はそんな思いでこの度修理を実行することになり、今回の「池田邸改修プロジェクト」その1「舟宿改修計画」を立ち上げることとなりました。とはいえ、私達だけの力では守り通す事がむづかしいのが現状です。プロジェクトへのご理解とご協力を賜り、勝山を皆様の心の故郷として残していくためにふるさと納税によるプロジェクトへご参加いただきますことをお願い申し上げます。

#### ふるさと納税※1

ふるさと納税とは、応援したい自治体への寄附できる制度のことです。真庭市では、自分の出身地、ゆかりのある地域を指定してふるさと納税（寄付）することができる「ふるさと応援交付金制度」があり、より直接的に地域の活動を支援することができます。地域指定でふるさと納税「勝山上組自主組織（舟宿）」を指定してください。なお詳しくは別紙にてご参照ください。

### 2 これまでの活動

勝山では1996年に上組自主組織のメンバーで構成される、勝山町並み保存事業を応援する会が発足し、勝山の未来について意見交換を行いながら、「のれんの町づくり」を開始するとともに「まちづくり拠点」として1997年に観光無料休憩所をオープンさせ、蕎麦打ち会やスタンプラリーなどを行って参りました。また、今日では勝山の名物となっている春のお雛祭りも来年に

は20周年を迎えます。さらに2005年からは、旧醤油蔵を活用した「勝山文化往来館ひしお」の指定管理者となりさまざまな芸術・文化・学術などの発信を行ってきました。これら住民組織が主体となり行政はじめ商工会や観光協会がサポートするまちづくりは地域外からも高い評価を頂いて参りました。

### 3 勝山ビジョン2013からの流れ

かつやま町並み保存事業を応援する会※4が、さまざまな活動を行ってから約20年余りを経た2013年に、改めてこれまでの総括を行い、これまでやってきたことを整理し、今後可能な活動を位置づけていくに至りました。それを「勝山ビジョン2013」と題し、その中には次に可能な[次のステップのための17アイデア]を提示しました。この17のステップのうち、まずでき

ることを幾つかまとめて2013年に第一回「勝山町並み体験クラフト市」を開催いたしました。今年で5回目を終了したこのイベントは、これまでの議論の過程であるとともに、持続可能な今後のまちづくり活動へ重要な役割を果たすイベントであると考えております。

#### 1996年設立

##### かつやま町並み保存事業を応援する会※4

構成：町並み保存地区民等 有志14名で構成  
目的：「自分たちが住んで楽しい町にしよう。」  
事業：のれん事業、勝山のお雛まつり事業、蕎麦打ち、研修旅行等の活動

#### 2005年設立

##### NPO 法人勝山町並み委員会※2

勝山町の町並み保存地区を中心とした地域住民に対して、町並みの整備や公設施設の運営受託等に関する事業を行い、地域文化の保存及び伝承等、社会貢献活動を通じて、個性ある町づくりの推進を図る活動に寄与することを目的とする。

#### 2011年設立

##### 上組自主組織※3

構成：山本町、上町、中町、下町、中川町の80世帯で構成。  
目的：「地域のコミュニティ推進を図る各種事業をする。」  
事業：納涼盆踊り、敬老会、旭川の草刈、暖簾スタンプラリー等の活動。「ふるさと応援交付金制度」による支援組織として2016年認定。

2013年

勝山ビジョン2013

## 4

## 舟宿とは

今回の該当建物は町並みの中心部に位置します。また、表通りから旭川までつながっている長細い敷地になっています。旭川に面した部分には、江戸時代に積まれた石組みの上に鉄道開通以前は交通・流通、文化・情報の主役だった舟運の拠点として高瀬舟の船頭さんが宿泊していた「船宿」と呼ばれる建物が建っています。「船宿」は旭川に面し美しい景観（連続立面）を構成する重要な建物です。また、通りに面する建物は、歴史的街並みを構成する非常に重要な建物であり、平面計画的には細長い敷地を利用して通り庭があり、内部に中庭、そしてその奥に庭のある、町家形式の派生系と言うことも出来、勝山のような山

間地域で見受けられる特徴的な平面計画になっています。さらに庭に面して蔵もあり、勝山の町並みに存在する典型的な建物であると同時に、勝山の町中の建物を実際に見て体験できる貴重な建物となる可能性を持っています。また、豊かな旭川の水辺環境があるにも関わらず、有効活用されていない町中において、今後美しい水辺の親水空間を演出することも可能な立地条件です。私たちは、池田邸改修にあたり、まず、住民に愛されている景観的なシンボルでありながら屋根、白壁の崩落など老朽化が著しい「舟宿」の修復・保全を最優先させたいと考えております。



劣化が日々進行中

2000年9月  
外壁の破損は少ない2017年9月  
外壁の破損が進行2017年10月  
台風によりさらに進行

活用の可能性

旭川の親水空間への一体的な計画も可能です

母屋との中庭空間は子供を安心して遊ばせる空間とすることもできます

## 5

## 目標金額とその使いみち・スケジュール

今回のプロジェクトは段階的に資金を調達して改修の作業を行っていくことを計画しています。まずは旭川からの大切な歴史的景観を維持するために「舟宿」の改修としての資金を600万円を目標として出資・ふるさと納税・クラウドファンディングを含めて募集し、真庭市の援助も受けながら、資金の目処がつき次第一刻も早く補修・保全作業に取り掛かりたいと考えております。

具体的には真庭市町並み整備事業 100万。クラウドファンディング 100万。ふるさと納税で 400万を目標としています。

またその資金集めの過程では、引き続き町の将来を議論するこ

とを継続して行い、建設に関しては、すでに数年前から試験的に行っている学生や高校生を対象にしたワークショップ形式の施工体験の動きも導入していきたいと考えています。さらに本プロジェクトに様々なかたちでご協力いただいた方には、その都度報告会を開催して、プロジェクトの進捗状況などの共有を行っていき、地域内外の勝山ファンの交流の場となることを願っています。

今後池田邸が勝山のシンボルとなり地元の愛着に満ち溢れた場所になるための第一弾として、現在最も緊急性の高いこのプロジェクトへのご協力をよろしくお願いいたします。

## 【ご注意下さい！】

確定申告は、平成29年1月1日から12月31日までの収入を計算して行うため、平成29年の確定申告の対象となるのは、その年の1月から12月に納付されたご寄附となります。

そのため、来年の寄附金税額控除を受けるためには、12月31日までにご寄附をお納めいただく必要があります。